

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212S401	小児看護学実習 (Clinical Practice of Child Nursing)	専門教育科目 小児看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	担当教員
必修	2	4	前期	幸松美智子・江藤千晴 内線： 5075 E-mail: yukimats@

【授業の概要・到達目標】

健康障害や入院が小児およびその家族に及ぼす影響を理解した上で、小児の成長発達段階に応じた適切な看護援助が実施できる基礎的な知識と技術および態度を養う。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 受け持ち患児の病態、検査、治療について理解し、健康上の問題を解決するための看護ケアを実践することができる	○		○				○
2. 入院生活や健康障害が小児の成長発達に及ぼす影響を考え、悪影響を取り除き、成長・発達を促進させる看護ケアを実践することができる	○	○	○	○			○
3. 入院している小児や家族の心理的・社会的問題について考え、子どもと家族のこころを支える看護を実践することができる	○	○	○	○			○
4. 在宅での生活が円滑に送れるよう地域や他職種（学校や保育園など）との連携、継続看護のあり方について考え、入院時より求められる支援や調整を行うことができる	○	○	○				○
5. 受け持ち患児の健康上の問題を解決するための医師やコ・メディカルとの協働を通して、保健医療チームの一員としての看護師の果たすべき役割を理解することができる	○	○	○				○

【授業の内容】

2週間の実習期間中、ひとりの病気や障害をもつ子どもを受け持ち、アセスメント・問題点の抽出・計画の立案・実践・評価という看護過程の展開を通じて対象の健康回復、維持、増進を図るとともに、成長・発達を支える個別的看護を創造する。また、病児の家族も看護の対象と捉え、支援する。

【アクティブラーニング（D：知識の活用・創造）において学生がより深く学ぶための工夫】

学生自身が立案した看護計画に基づく看護実践や実施したケア毎の記録（SOAP）を介して、マニュアルから個別看護を創造するプロセスが辿れるよう支援し、看護がアートであることを体験できるようにする。毎日、テーマカンファレンスを実施することにより、自己の曖昧な認識や感情に気付き、真理を追求することの意義を考えられるよう支援する。

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	日常生活支援に必要な最新の知見や研究データを収集し、EBNに基づいた看護実践ができるよう準備する。また、授業資料や教科書で小児看護学の復習をしておく（20h）
事後学修	日々の看護記録（SOAP）により自己の看護を振り返るとともに、気づきや疑問点についてカンファレンスを用いた理解や理論・最新の知見を調べて深く追求する（20h）

【教科書】

中野綾美【編】：ナーシンググラフィカ 小児の発達と看護 小児看護学①、メディカ出版、2022年
中野綾美（編）：ナーシンググラフィカ 小児看護技術 小児看護学②、メディカ出版、2022年

【参考書】 その都度提示する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
看護過程の展開	80%	○	○	○	○	
学習意欲・態度	20%	○	○	○	○	○

【注意事項】

感染症の罹患は、その軽重に関係なく患児との接触が許可されないため、体調管理に留意する。
また、麻疹・風疹等の抗体獲得状況について確認し、未獲得の場合は早めに相談すること。

【備考】

小児看護の文献は看護学科棟5階の小児看護学研究室にもあるので使用の際には教員に申し出ること

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験	幸美智子（看護師）、江藤和晴（看護師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者	附属病院4階東病棟（小児科病棟）看護師	
実務経験をいかした教育内容	臨床における最新の小児医療や小児看護の知識・技術に基づいた実習能力を習得する。 学生が将来就く職業におけるロールモデルとして機能することで、小児看護に対する看護観の育成や小児医療における職業倫理の獲得を図る	
授業形態		